

## 新潟市で学ぼう SDGs ! ～SDGs 達成に寄与する体験型プログラム～ ワークシート（事前・共通）

### 【プログラムに込めた想い】

5 つの SDGs 体験プログラムは、「どこの誰かの、顔の見えない社会課題」ではなく、新潟市に存在する社会課題の当事者や課題解決に取り組んでいる人に着目することで自分に地続きの課題として認識し、解決に向けたアクションの根源となる「原体験」を提供します。本プログラムを通じて、参加者に「社会課題の解決者」としての一步を踏み出してほしい、そんな想いを込めて開発しました。

### 【ワークシート（共通）について】

本ワークシートは、5 つの体験型プログラムに共通して、事前に学ぶ必要がある以下の要素について、総合的に学ぶことができるワークシートです。ワークシート（共通）は以下の構成で作成されています。

<ワークシート（共通）の構成>



#### 1. チームビルディング

本プログラムは、チームで実施することを前提としています。チームでの活動をより良く行うことができるように、「チームビルディング」を行います。



#### 2. 仮説検証

体験プログラムでは、多くの情報が入手できます。白紙の状態では体験プログラムを行うのではなく、仮説を設定し、それを検証するプロセスをたどることで、情報を整理していきます。



#### 3. 体験プログラムの準備

体験プログラムでは、新潟市内の課題の当事者や課題解決を行う様々な人に出会います。各受け入れ先で行うインタビューからの学びを最大化するための事前準備を行います。

また、各項目のワークシートに含まれる具体的な内容は以下のとおりです。

<項目ごとの内容>

ワークシート（共通）の項目	内容
1. チームビルディング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイスブレイク</li> <li>・チームビルディングの方法</li> <li>・チーム内での役割分担</li> </ul>
2. 仮説検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮説とは何か、なぜ必要か</li> <li>・仮説の作り方</li> </ul>
3. 体験プログラムの準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べ学習について</li> <li>・インタビューの準備</li> </ul>

## 1. チームビルディング

チームビルディングは、メンバー一人ひとりの特性を最大限活かし、目標を達成するためにチームを創り上げていく取り組みです。本プログラムを通じた学びが最大化できるように、チームワークのあるチームを目指しましょう。



まずは、チームメンバー同士で他己紹介を行い、チームメンバーについての理解を深めます。

### アイスブレイク（他己紹介）

#### ○目的：

この体験プログラムでは、様々な方々へインタビューを行います。ここでは、相手の情報を正確に捉え、伝達する練習も兼ねて、「他己紹介」をしてみましょう。

#### ○内容：

他己紹介は、自分以外の他の人を参加者に向けて紹介するアイスブレイクです。ペアを組み、聞く役、話す役に分かれて、5分程度のインタビューを行い、情報を収集し、チームに戻って得られた情報を基に、他己紹介します。

○所要時間：10分+（1分×チームメンバー数）

#### ○方法：

1. ペアを組み、聞く役と話す役を決めます。
2. 聞く役は、以下のインタビュー項目のうち気になるテーマについてインタビューを行います。【5分間】

人生で最も頑張ったこと	将来の夢	マイブーム
最近嬉しかったこと	直したいところ	おすすめのお店
大好きなもの	レアな体験	私、実はコレに弱いんです…

3. インタビューの内容はメモしておきます。

<インタビューメモ>

4. 役割を交代して、2,3を行います。【5分間】
5. チームに戻って、インタビューした人の情報をチームメンバーに伝えます。【1分間/1人】



チームメンバーの名前や情報はメモしておきましょう。

チームメンバー	メモ



次に、メンバーでチーム名を考えます。理由についても書き記しておきましょう。

【チーム名】

【チーム名の理由】

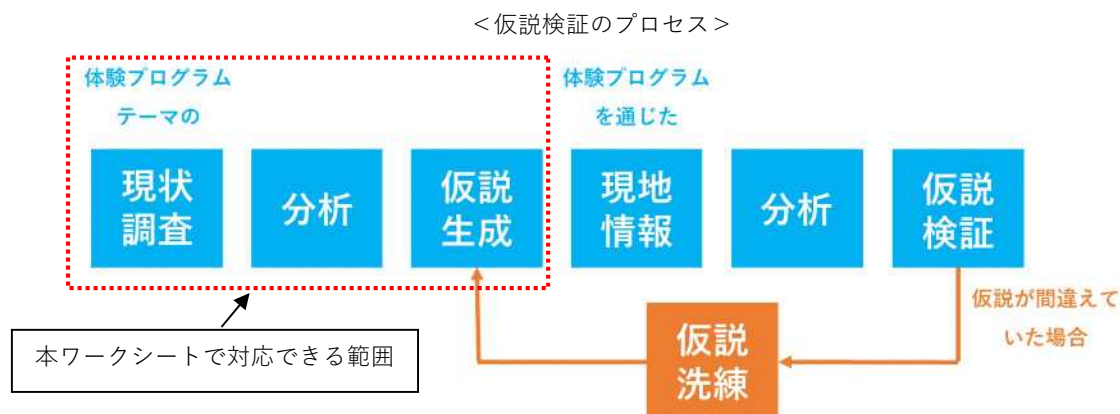


チームメンバーで役割分担をしましょう。まずは、どんな役割が必要か洗い出しましょう。  
 例えば、リーダー、記録係（写真）、書記、タイムキーパー等がありますね。全員分の役割を考えましょう。

役割	具体的な役割	担当者

## 2. 仮説検証

仮説とは、「仮に立てた説」のことです。今回のプログラムでは多くの情報を入手します。これらの情報を整理するためには、枠組み（フレームワーク）が必要です。枠組みがないと、情報の整理ができず、入手した情報を有効に活用できなくなってしまいますので、今回は「仮説検証」のフレームワークを活用します。



### ①現状調査

現状調査では、調べ学習を行います。調べ学習では、以下について気を付けましょう。

<調べ学習のポイント>

調べ学習で気を付けるポイント	内容
(ア) 情報の信頼性	情報の発信先等から情報の確からしさが確保されているかどうか、
(イ) 情報の多様性	情報に偏りがなく、様々な情報を入手出来ているかどうか。

#### (ア) 情報の信頼性

世の中にある情報は、真偽が確かではない情報が紛れ込んでいますので、正しい情報をどのように入手できるかを考えてみましょう。



皆さんは、普段どこから情報を得ていますか？また、最近得た情報はどんなものでしたか？

<情報入手先と情報の具体的な内容>

情報源（例：新聞、テレビ、twitter等）	最近得た具体的な情報



挙げた情報のうち、情報の真偽が確かではないものをリストアップし、  
なぜそう思ったのか考えてみましょう。

<真偽が疑わしい情報リスト>

真偽が確かではない情報	確かではない理由

【ディスカッションのメモ】



情報の確からしさを確保するためにどんな方法があるかをチームで考えてみましょう。

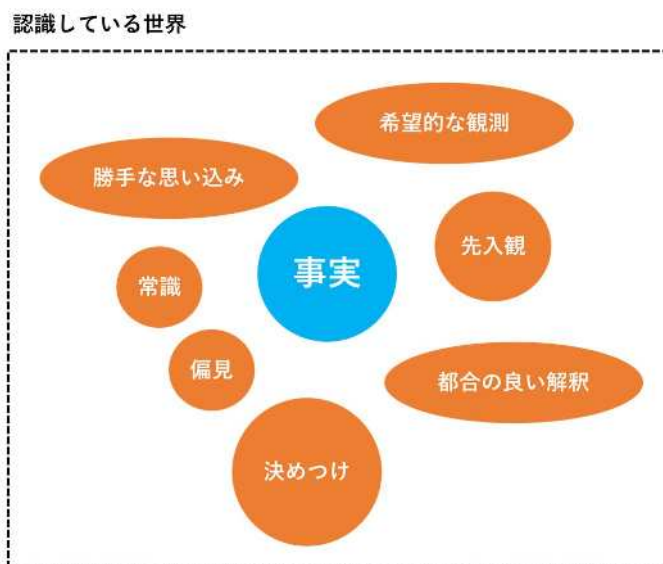
<情報の確からしさを確保するためにできること、考えるべきこと>

【ディスカッションのメモ】

※参考：情報の様々

情報には「事実」と「思い込み」があります。それらの情報が入り混じって、我々は世界を認識しています。

<情報の様々>



例えば、「ジョージ・ワシントンは米国の初代大統領であった。」は事実ですが、「ジョージ・ワシントンは米国の最も偉大な大統領であった。」は思い込み（主観）です。事実は検証可能で、思い込み（主観）は検証が不可能です。情報を入手する際は、その情報が検証可能か、そうでないかについても考えてみましょう。

※参考：警視庁「疑わしい情報を判断するヒント」<sup>1</sup>

<疑わしい情報の例（警視庁サイトより）>

**①【！大至急！】**  
**あと3日後に、東京に②大地震が来ることが③国から発表されました！**  
**今回の予知は①絶対当たる④らしいです！**  
**一人でも多くの命を救うため、⑤知り合い全員に共有してください！！**

疑わしい情報を判断するヒント	内容
強調表現、不安をあおる表現や急がせる表現が多い	その情報が本当であれば、事実のみを記載すれば十分です。しかしウソの情報は、強調表現や不安をあおる表現で信じ込ませ、急いで拡散させようとしています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・強調表現（非常に、かなり、すごく、絶対、全て、必ず、重大な等）</li> <li>・不安をあおる表現（危険な、悪質な、大変な等）</li> <li>・急がせる表現（即、大至急等）</li> </ul>
生命や金銭に関わる内容	避難情報や災害情報等、生命に関わる内容も多く悪用されます。また、「無料だったサービスが来月から有料になる」「有料サービスが期間限定で無料になる」等、金銭に関わるものも悪用されやすいので、必ず情報源を確認しましょう。
情報源が記載されていない	本当のように記載されていても、リンク（情報源のURL）や根拠が記載されていない場合は、必ず自分で検索して情報源を確かめましょう。官公庁や企業に関するものであれば、公式ホームページや公式ブログ等を確認してください。また気象情報など、内容によってはテレビやラジオ等を確認することも有効です
伝聞形式で書かれている	記載されている情報に、「らしい」「みたい」「だそうです」等の伝聞形式が含まれている場合も注意が必要です。「友人が」「知り合いが」「芸能人が」など情報源があいまいな場合は、当事者と直接話をしたり、公式ホームページを検索するなどして確認するようにしてください。
拡散を勧めている	拡散を勧める書き方には、大きく分けて、悪意によるものと善意によるものの2パターンがあります。どちらであっても、情報源を確かめ、無闇に拡散しないことが重要です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○悪意ある拡散の要求の例 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「見てから○時間以内に×人に回さないと不幸になります」</li> <li>・「この情報を止めた人は特定され、襲われます（捕まります）」等</li> </ul> </li> <li>○善意による拡散の要求の例 <ul style="list-style-type: none"> <li>「ペットショップがつぶれたので、もらってくれそうな人に広めてください」</li> <li>「被害を未然に防ぐために、知り合い全員に共有してください」等</li> </ul> </li> </ul>

（警視庁ホームページ「疑わしい情報に惑わされないために」より作成）

<sup>1</sup> 参照：警視庁「疑わしい情報に惑わされないために-疑わしい情報を判断するヒント-」  
<https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/kurashi/cyber/joho/truth.html>



### (イ) 情報の多様性

情報に偏りがないように、様々な視点の情報が含まれるようにしましょう。そのためには、まず自分自身がどのような考えを持っていて、どのような情報を好み/嫌う傾向があるかを認識することが重要です。



特定のテーマで、好きだと思うこと、嫌いだと思うことを書き出してみましょう。

テーマ	好きなジャンルやスタイル	苦手なジャンルやスタイル
ファッション		
芸能人		
音楽		
科目		
食べ物		



書き出した内容をチームで共有して、違いを感じてみましょう。

【ディスカッションのメモ】

## ②分析

分析に先立って、得られた情報を「KJ法」を利用して、整理しましょう。

<KJ法とは>

得た情報をカードに書き、同じ系統のカードをグループ化して、系統ごとに分類されたデータを整理、分析し、図解などを用いて論文などにまとめていく方法のこと。

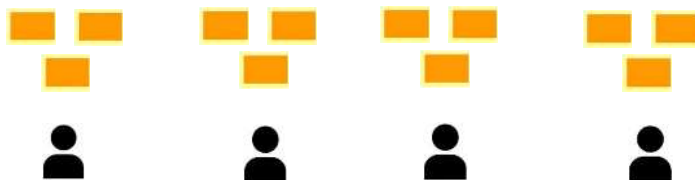
### (ア) KJ法の進め方

○KJ法を始める前に

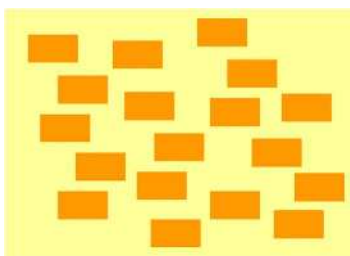
- ・司会進行や書記を決める
- ・ホワイトボード、または大きな紙を用意する。また、たくさんのカードを用意する。

○KJ法の進め方

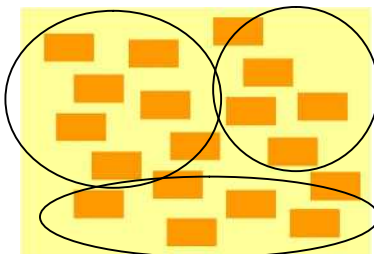
- ・調べ学習で得られた情報を紙に書きだしていく。(個人ワーク)【5分間】



- ・書き出した紙を順番に提示していく。(グループワーク)【3分間/1人】



- ・書き出された内容に似ている紙近くに集める。(グループワーク)【5分間】
- ・内容が似ている項目をグループ化する。(グループワーク)【15分間】



- ・グループ化された群(カテゴリー)に名前をつける。(グループワーク)【10分間】



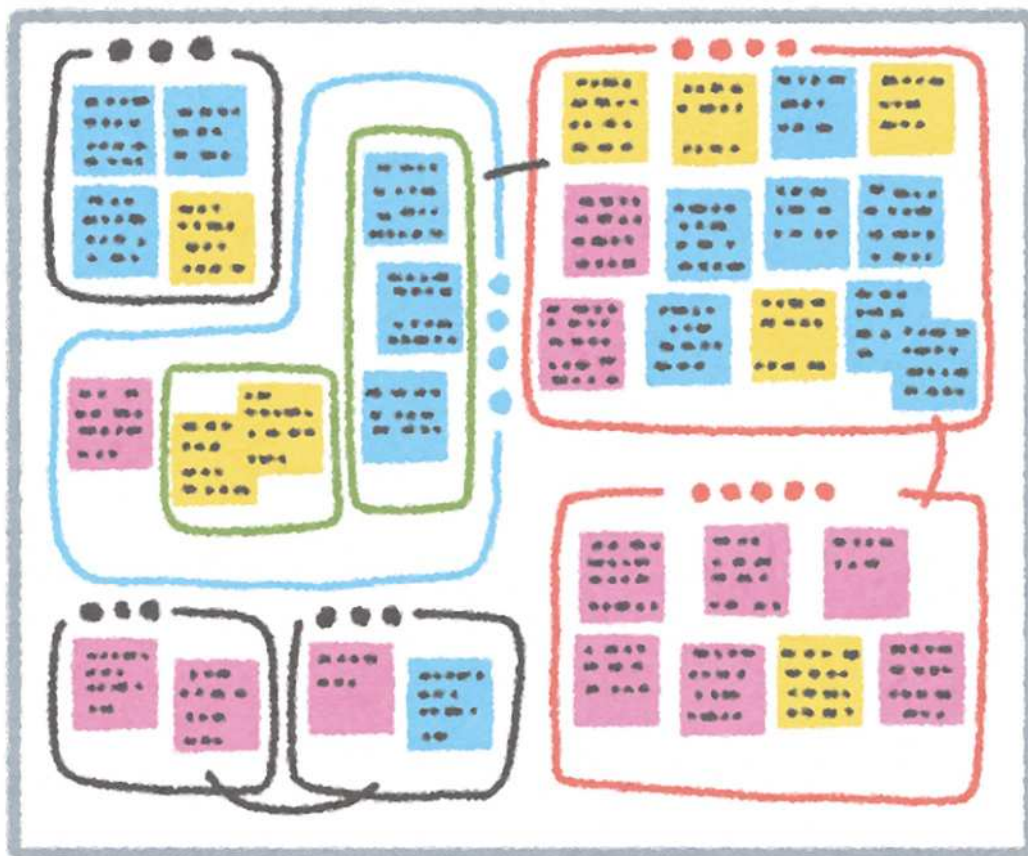
KJ法を通じて、整理されたチームとしての情報をまとめておきましょう。

カテゴリーの名前	含まれている内容

(イ) 分析

KJ法によって、整理された情報を分析します。分析に当たっては、カテゴリー同士の関係性に着目して、因果関係を明らかにしましょう。

<カテゴリーの因果関係イメージ>



因果関係を整理した図を、改めてチームで確認して、何が課題であることを明らかにしましょう。その際、課題の優先度をチームで話し合い、ランク付けすることも有効です。



チームでの話し合いを踏まえて、最も重要な課題を決めましょう。

<カテゴリーの中で最も重要な課題>

【ディスカッションのメモ】

### ③仮説生成

ここでは、体験プログラムテーマに基づいて、当日にインタビューや体験等を通じて、検証する仮説を設定します。仮説は、これまで調べてきた情報を基に、「こうかもしれない」という説のことを指します。



チームで話し合い、チームで扱う仮説を具体的に設定しましょう。

<チームで取り扱う社会課題>

【ディスカッションのメモ】

【チームで取り扱う仮説】

なお、社会課題の設定にあたっては、できるだけ具体的にすることを目指しましょう。具体化する際には、「誰の（対象者）」「どんな困りごと（課題）」を対象にするかを議論するのが良いでしょう。

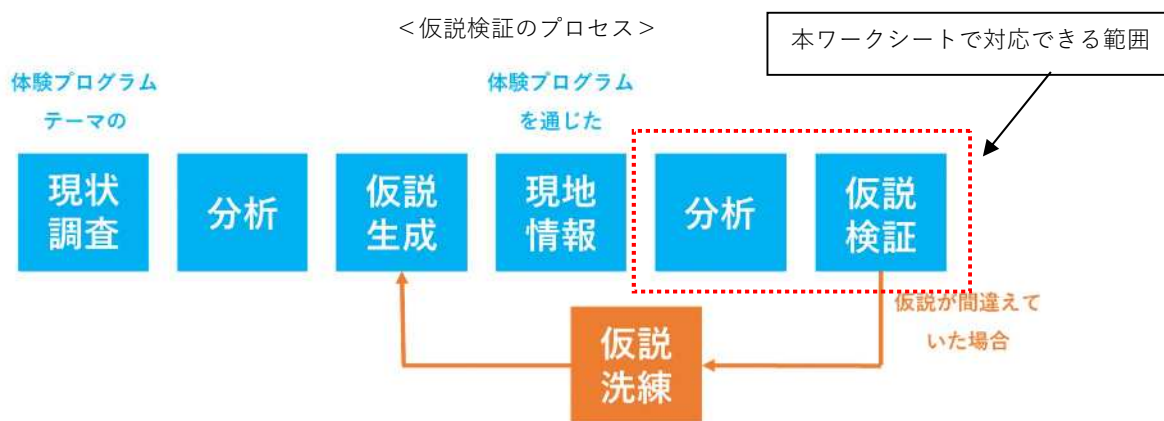
### 3. 体験プログラムの準備

体験プログラムでは、多くの方々からお話を伺います。その際には、仮説を検証するという姿勢が重要です。「③仮説生成」で考えた仮説を確認するために、現地で確認すべきことからインタビュー内容を決定しましょう。また、調べ学習では、入手できなかった項目について確認することも大切です。

<インタビュー内容>

確認が必要なこと (何を)	インタビューの対象 (誰に)	インタビューの質問案 (どうやって)

新潟市で学ぼう SDGs！～SDGs 達成に寄与する体験型プログラム～  
ワークシート（事後・共通）



①分析

まずは、改めて事前学習で設定していた仮説として設定した仮説を思い出してみましょう。

【チームで取り扱った仮説】



皆さんが設定した仮説は正しかったですか？

さらに、体験プログラムを通じて得られた情報を整理してみましょう。整理に当たっては、事前学習で学んだように、その情報が「事実」か「思い込み（主観）」か、意識しましょう。この情報の整理もKJ法を活用します。得られた情報が「事実」であるか、「思い込み（主観）」であるかで、記載する紙の色を分けると、わかりやすいですね。

## (再掲) KJ 法の進め方

### <KJ 法とは>

得た情報をカードに書き、同じ系統のカードをグループ化して、系統ごとに分類されたデータを整理、分析し、図解などを用いて論文などにまとめていく方法のこと。

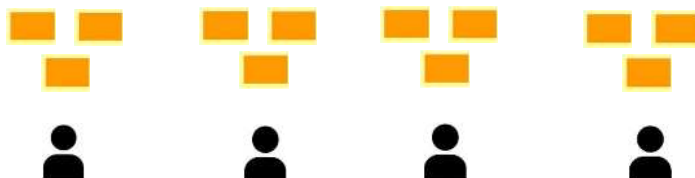
### (ア) KJ 法の進め方

#### ○KJ 法を始める前に

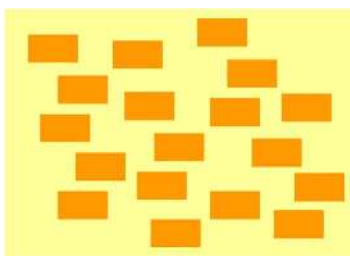
- ・司会進行や書記を決める
- ・ホワイトボード、または大きな紙を用意する。また、たくさんのカードを用意する。

#### ○KJ 法の進め方

- ・調べ学習で得られた情報を紙に書きだしていく。【個人ワーク】

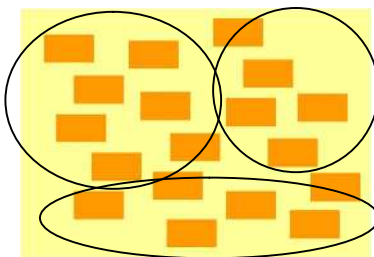


- ・書き出した紙を順番に提示していく。【グループワーク】



- ・書き出された内容に似ている紙近くに集める。【グループワーク】

- ・内容が似ている項目をグループ化する。【グループワーク】



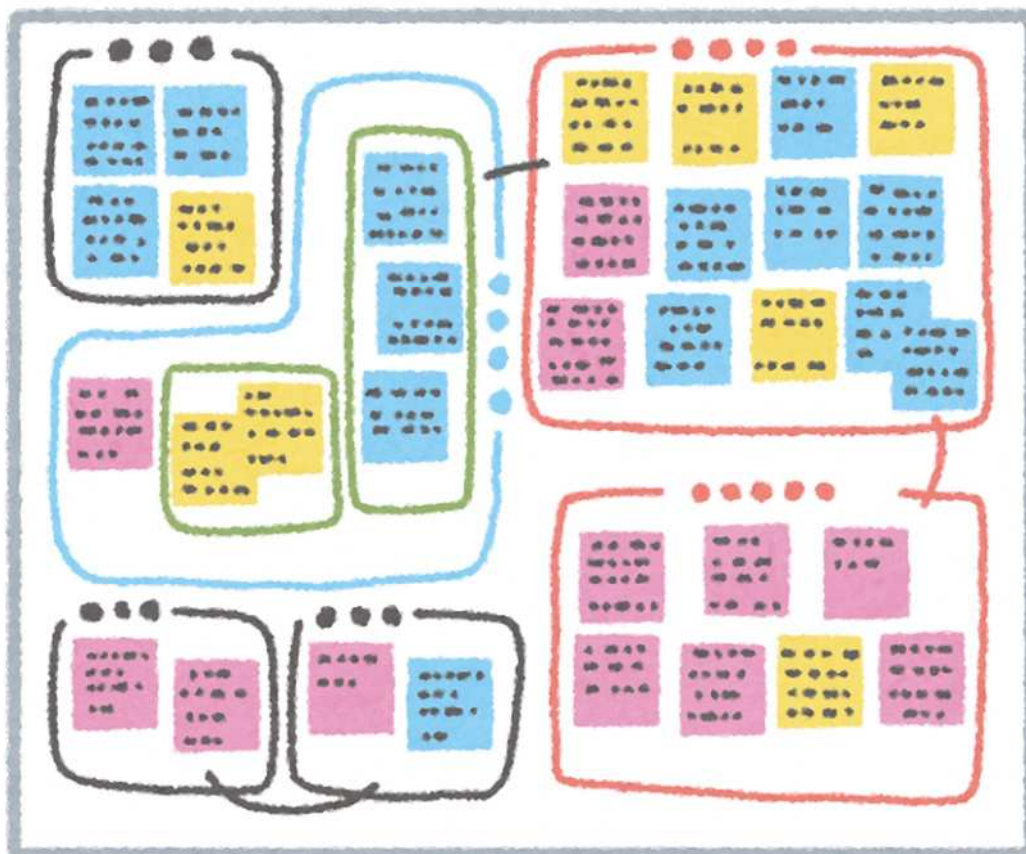
- ・グループ化された群（カテゴリー）に名前をつける。【グループワーク】



(イ) 分析

KJ法によって、整理された情報を分析します。分析に当たっては、カテゴリー同士の関係性に着目して、因果関係を明らかにしましょう。

<カテゴリーの因果関係イメージ>



## ②仮説検証

最後に、体験プログラムを経て、得た情報をもって、事前学習で設定した仮説が正しかったかどうかを確認してみましょう。さらに、得た情報を基にして、仮説の精度を高めていきましょう。

【体験プログラムで得た情報を基にした、新たな仮説】

新たな仮説は、引き続き検証を行い、何度も仮説を作り直していきます。どんどんと仮説の精度が高まってくれば、それは「仮に立てた説」から、確からしい事実になっていきます。このプロセスを通じて、社会の本当の姿を把握することができます。さらなる検証を進めるために、今後検証が必要な項目を洗い出し、どのように入手するかを考え、行動してみましょう。

今後検証が必要な項目	入手方法